

呼吸リハのエキスパートが教える

PT・OT・STが呼吸リハを 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー(福岡)

講師 渡邊 宏樹

湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室長・立命館大学大学院先端総合学術研究科・呼吸療法認定士・心臓リハ指導士・心不全療養指導士
集中治療理学療法士・Knowledge Link代表



第1部 呼吸リハのための基礎知識

第1部は疾患の理解や評価法をマスターするためのセッションです。

呼吸リハの適応になる疾患(肺炎やCOPDや間質性肺炎など)を療法士としてどのように理解したら良いか、カルテにあふれる情報(胸部X線やCT、呼吸機能検査や血液ガスなど様々な検査所見)を療法士としてどのように解釈したらよいか、ベッドサイドで患者の身体から直接得られる情報(呼吸器疾患の患者に多い外見上の特徴や、特徴的な呼吸の仕方や呼吸パターン、聴診の所見など)をどのようにとり、解釈したら良いか。疾患の理解と評価法に特化したセッションです。

第2部 呼吸リハの実践

第2部は呼吸リハを臨床で実践するためのセッションです。

評価の結果を解釈し、方針を立て、実際の治療を行い、患者を快方に導く、この一連を学びます。

呼吸の評価をどう解釈し方針を立てるか、実際の介入の仕方(コンディショニング、運動療法、ADLトレーニング)、リスクの捉え方と回避の仕方、早期離床と呼吸リハ、OT・STの最近の活躍、ケーススタディー、を網羅的に解説します。

実際の患者の呼吸リハ場面の動画を多用しながら解説します。

第3部 排痰援助の実習

臨床で使える排痰援助あれこれを実習するセッションです。

ハフティング/ACBT・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・スキーング・スプリンギング・ポストリフツなどを実習、体験いただきます。

セミナー内容

対象:PT / OT / ST

第1部 呼吸リハのための基礎知識 10:00～11:30

- ①呼吸リハの適応になる疾患(肺炎、COPD、間質性肺炎、神経筋疾患、周術期)の特徴を解説します。
- ②療法士が知っておくべき検査所見(胸部X線、CT、呼吸機能検査、血ガス)の見方を解説します。
- ③療法士が知っておくべき身体所見(外見上の特徴、特徴的な呼吸の仕方、呼吸パターン、聴診の所見)の取り方、解釈の仕方を解説します。

第2部 呼吸リハの実践 12:20～14:20

- ①呼吸リハビリテーションのエビデンス
- ②包括的呼吸リハとは何か

- ③コンディショニングの実際(呼吸法・排痰法(徒手や器具や機器を使う方法))
- ④呼吸器疾患患者の運動療法(運動の強さをどのように決めるか・リスクをどのように評価するか)
- ⑤ADLトレーニングの考え方
- ⑥最近の話題(呼吸筋トレーニング・フィジカルアクティビティー・OT/STの活躍)
- ⑦早期離床の考え方
- ⑧ケーススタディー(COPD・肺炎・神経筋疾患を例として)

第3部 排痰援助の実習 14:30～16:00

ハフティング/ACBT・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・スキーング・スプリンギング・ポストリフツなどを実習、体験

日 時

2025年12月20日(土) 10:00～16:00(9:30受付開始)

リファレンス大博多ビル 福岡市博多区博多駅前2丁目20-1 大博多ビル11F

受講料 13,000 円 (3名以上でお申込みの場合は11,000円/人)



リファレンス大博多ビル

お申し込みは [Webサイト](#) で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>

ナレッジリンクHP